

令和2年8月27日

吹田市下水道部長 様

吹田建設業協会

会長 紙谷和典

下水道管路施設の包括的民間委託に関する要望

時下、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素は、市内建設業者への指導・育成につきまして格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当協会員より安心・安全の街づくりのためのインフラ整備に貢献していくうえで、下水道管路施設の包括的民間委託について質問及び要望がありますので、格別のご配慮を賜りますようお願い申し上げます。

記

1. 吹田市下水道管路施設の包括的民間委託事業説明会のアンケート集計結果の5頁目の「3.今後の課題と予定（1）今後の課題 将来の工事発注と市内中小企業者の受注機会の確保」について、市内中小企業者の官公需受注を原則としながらも、改築工事を包括的民間委託に含めることは、課題解決に有効な発注方法の一つとして捉えているとあります。そして、改築工事発注量が10km/年の場合、令和元年度発注量2.5kmの4倍となり、単年度・都度発注では、業務の遂行が非常に困難となり、多様な発注方法が必要と考えているとあります。しかしながら、これはあくまでも発注者側の人員不足に起因するものであり、受注者側としては従来から要望している債務負担行為等の発注方法の工夫により、年間を通した工事の平準化により対処できる余地は十分あると考えております。
2. 同じく、（1）今後の課題のところ、「建設業における15歳以上の就業人口は減少傾向になり、今後、改築工事や緊急時に対応する受注者側の体制が確保できるか危惧している」とありますが、それを前提のうえで、発注者側と受注者側が災害時にも対応できるような体制を協力して構築していくべきだと考えます。その為にも、市内中小企業者に対する受注機会確保のために、改築工事を2期目以降も包括的民間委託に含めることなく、一般競争入札での発注をお願い致します。
3. 改築工事を包括的民間委託に含める事例が全国的にみても他市で少ない現状で、貴市で有効な発注方法の一つとして検討される理由はどこにあるのでしょうか。

以上